

[ 2020 年度 ]

繊維製品品質管理士試験

〔Ⅲ〕 家庭用繊維製品の流通、消費と  
消費者問題に関する知識

◆注 意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、解答用紙に氏名と、受験番号（4ケタ）、その下の受験番号の数字をマークしてください。
3. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。
4. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
5. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。  
トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出て  
ください。
6. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
7. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクを外して顔をあげてください。
8. 試験会場内は禁煙です。

問1 次のA～Fの文の下線部が①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが正しい場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①可処分所得の中の消費される割合を消費性向という。  
②可処分所得とは、所得から税金、社会保険料などの非消費支出を除いたものである。
- B. ①生活水準は、経済要因のみで定まる。  
②月々の支出の大きさはフローと呼ばれる。
- C. ①J. A. ハワードはアメリカのインスタントコーヒーについて研究し、購買行動を5段階に分けた。  
②J. A. ハワードの購買行動の分類のうち、「広範（拡大）問題解決行動」は商品の成長後期から成熟期の行動であり、これまでと違った他社の商品や、別のブランドを買う場合である。
- D. ①消費者調査において、喫煙について、「たばこは身体に有害ですが、あなたはたばこを吸いますか」という問い方は的確である。  
②消費者調査において、リサイクルについて、「資源の有効利用が話題になっていますが、あなたは衣服のリサイクルをしていますか」という問い方は的確である。
- E. ①事実調査では、調査対象者の現実になされた行動に関する情報を集める。  
②「1週間のうちワイシャツを着る回数」、「衣料品の販売数」などの情報を集める調査は事実調査である。
- F. ①用意された一群の回答選択肢について、一定の基準に従って程度の強い順に順位を付けて答える方法を評定尺度法という。  
②あらかじめ用意されたいくつかの回答選択肢の中から、当てはまる選択肢を選んで答える方法は多項肢選択法である。

問2 次の文中 [A] ～ [J] の後ろの ( ) 内に示す語句の中から、最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 生活の目標を達成したいとき、または何か不足するものがあるときにおこる心理的緊張を解消し、一連の適応行動を起こす過程を [A] (1. 欲求 2. 動機づけ 3. 購買行動 4. 態度) という。
- II. 諸欲求には段階があり、低次の欲求が充足されて高次欲求が顕在化する「欲求の階層理論」は [B] (1. M. T. コープランド 2. A. H. マズロー 3. J. グッドマン 4. R. G. ストール) によって提唱された。

- III. 国勢調査などにおける年齢・性別・家族・居住区域・所得などの人口学的調査項目は [C]  
(1. ライフスタイル変数 2. サイコグラフィック変数 3. 行動・態度変数 4. デモグラフィック変数) である。
- IV. 第一次オイルショックは [D] (1. 1953年 2. 1973年 3. 1993年 4. 2013年) におこり、経済成長がストップして国民生活は苦しくなり、消費性向は上昇した。
- V. 需要の価格弾力性  $\eta$  (イータ) は、価格の下落よりも需要の増加が著しい場合に [E]  
(1.  $\eta=0$  2.  $0<\eta<1$  3.  $\eta=1$  4.  $\eta>1$ ) となる。
- VI. 電話調査法で使われるコンピュータで無作為に発生させた番号に電話をかけることを [F]  
(1. ランダム・テレホン・ダイヤリング 2. ランダム・デジット・ダイヤリング  
3. ランダム・デポジット・ダイヤリング 4. ランダム・デジタル・ダイヤリング) という。
- VII. 調査対象とする個々の単位の集まり全体を調べることを、統計用語として通常 [G] (1. 全量調査 2. 標本調査 3. 全数調査 4. 全体調査) という。
- VIII. 標本調査は、一部の標本について調査するため、母集団と標本が一致しない誤差が入ってくることは避けられない。この誤差を [H] (1. 母集団誤差 2. 標本誤差 3. 偏り誤差 4. ばらつき誤差) という。
- IX. 母集団の全構成単位に一連番号を付け、はじめに一つの標本をランダムに選び出し、あとの標本は、一定の抽出間隔で順次抽出していく方法を [I] (1. 系統抽出法 2. 層別抽出法 3. 統一抽出法 4. 間隔抽出法) という。
- X. 2つの調査データ間 (質問項目間) に直線的関係があるかを調べる時 [J] (1. 分散 2. 偏差平方和 3. 散布度 4. 相関係数) が用いられる。

**問3 次のA～Iの文に、最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- A. 主体的に欲求し、自らの判断で購買行動をする消費者を前提とした「購買行動の情報処理モデル」を提唱した。  
(1. P. コトラー 2. R.G. ストール 3. J.R. フォード 4. J.R. ベットマン)
- B. 生活行動により消費者を分類し、それぞれの分類の特徴で生活を表現したもの  
(1. ライフステージ 2. ライフスタイル 3. ライフコース 4. ライフプラン)

- C. 流行の終わりに近い時期に購入する人のこと  
 (1. レイトマジョリティ 2. オピニオンリーダー 3. ラガード 4. フォロアー)
- D. 消費支出中における食料費が占める割合のこと  
 (1. ジニ係数 2. エンジェル係数 3. ライブニッツ係数 4. エンゲル係数)
- E. 価格が上がると購買量が減少し、下がると購買量が増加することを示した曲線  
 (1. 需要曲線 2. 消費曲線 3. 供給曲線 4. 価格曲線)
- F. 消費者の購買慣習に基づいて商品を3分類した。  
 (1. 佐々木土師二 2. R.G. ストール 3. M.T. コープランド 4. A.H. マズロー)
- G. 本調査が終了して調査票が回収されたら、そのまま直ちに集計作業に入らずに、まず調査票の点検をすること  
 (1. ワーディング 2. コーディング 3. アフターコーディング 4. エディティング)
- H. 母集団からマスターサンプルを抽出して、母集団に関する概略的情報を得て、次に、その情報を用いて抽出したマスターサンプルを層別抽出法により標本を抽出する方法  
 (1. 二相抽出法 2. 二段抽出法 3. 二層抽出法 4. 二面抽出法)
- I. 調査票の個々の質問項目ごとに回答を集計した単純集計から把握された個々の特徴が、どのような要因(質問項目)によって説明されるかを、調査データから調べるプロセス  
 (1. プラス集計 2. プロセス集計 3. ダブル集計 4. クロス集計)

**問4 次のA～Fの文に、最も関係が深いものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- A. 訪問販売などで値上がりが確実でない商品を「確実に値上がりする」と説明して不当に販売したものに對し、取り消しなど消費者被害の救済を可能にする法律
- B. 繊維製品や雑貨工業品の組成や取扱い方法を正しく表示することにより、一般消費者の利益の保護を図ることを目的とした法律
- C. メーカーに過失がなくても製品に欠陥があれば賠償責任を負わせ、商品の安全性を確保することを目的に制定された法律
- D. 2009年に消費者庁が設置されたのと同時に制定された法律で、初めて消費生活センターが法律に位置づけられた。

E. カシミヤ 100%表示に対して、実際のカシミヤ混用率が許容範囲より少なかった場合、優良誤認による措置命令の根拠となる法律

F. 所管官庁が、厚生労働省と消費者庁の共管の法律

[語 群]

- |               |               |            |           |
|---------------|---------------|------------|-----------|
| 1. 消費者保護基本法   | 2. 消費者基本法     | 3. 消費者契約法  | 4. 消費者安全法 |
| 5. 消費生活用製品安全法 | 6. 家庭用品品質表示法  | 7. 賠償責任補償法 | 8. 製造物責任法 |
| 9. 家庭用品規制法    | 10. 医薬品医療機器等法 | 11. 景品表示法  |           |

**問5 次のA～Hの文に、最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

A. 消費者庁を含めた各府省庁の消費行政全般に対して監視機能を有する、独立した第三者機関  
(1. 消費者委員会      2. 消費生活委員会      3. 消費者政策会議)

B. 消費者と事業者の力関係を平衡化するため行政の方策として誤っているもの  
(1. 民事ルールの新設      2. 違法行為への刑事罰      3. 個人情報の監視)

C. 独占禁止法を運用するために設置された機関  
(1. 公正取引委員会      2. 特定商取引法専門調査会      3. 国民生活センター)

D. ADR（裁判外紛争処理）の解決手段として、当事者間において自主的解決のために第三者が仲介、ないし助力すること  
(1. 仲裁      2. 調停      3. あっせん)

E. 資源有効利用促進法により、ごみの分別および収集を容易にするために容器包装につけるよう規定された「紙」や「プラ」などの材質表示  
(1. 識別表示      2. ブルーサイン      3. エコマーク)

F. 「企業の社会的責任」をあらわす略語  
(1. CSR      2. CSV      3. CSO)

G. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律のホルムアルデヒド規制において成人用下着に対する規制基準  
(1. 16ppm 以下      2. 75ppm 以下      3. 300ppm 以下)

H. 1997年（平成9年）の繊維製品品質表示規程改正により指定用語に追加された獣毛繊維として誤っているもの

- (1. ラクーン                      2. アンゴラ                      3. アルパカ)

**問6 次のⅠ～Ⅷの文中の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

Ⅰ. ケネディ大統領は1962年「消費者利益の保護に関する特別教書」の中で（ A ）など4つの「消費者の権利」を明らかにし、その権利を支障なく行使できるようにするのは（ B ）の責任であると述べた。その後、1975年にはフォード大統領が5つ目の権利として（ C ）を追加した。

- A (1. 選ぶ権利                      2. 救済を求める権利                      3. 消費者教育を受ける権利)  
B (1. 個人                      2. 企業                      3. 政府)  
C (1. 選ぶ権利                      2. 救済を求める権利                      3. 消費者教育を受ける権利)

Ⅱ. 国などによる消費者行政の手段である行政規制のうち、行為規制、業者規制、商品規制、価格規制は、（ D ）である。

- (1. 直接規制                      2. 間接規制                      3. 媒介規制)

Ⅲ. 苦情対応マネジメントの国際規格である（ E ）は、消費者からの苦情に効果的に対応するためには9つの基本原則に則ったプロセスが必要と定めている。

9つの基本原則には「公開性、アクセスの容易性、応答性、客観性、料金、機密保持、顧客重視のアプローチ、説明責任、（ F ）」が挙げられている。

- E (1. ISO 9001                      2. ISO 10002                      3. ISO 26000 )  
F (1. 継続的改善                      2. 選択的改善                      3. 自主的改善)

Ⅳ. JIS L 0001「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法」の4.1「記号の適用」では取扱い方法は見やすいように表示することや（ G ）取り付けることを規定している。

- (1. 直接肌に当たらない方法で    2. 二色を用いた表示で    3. 容易に取れない方法で)

Ⅴ. 2014年（平成26年）に新しく制定されたJIS L 0001「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法」に新しく（ H ）の記号が追加された。

- (1. 自然乾燥                      2. タンブル乾燥                      3. プレス乾燥)

Ⅵ. （ I ）は、2014年の6月と11月に法の改正が行われ、6月改正法では、事業者の法令遵守を確立すべく、適正表示の管理に必要な体制整備が義務化され、11月改正法では、不当表示の抑止力を高める方策として課徴金が導入された。

- (1. 景品表示法                      2. 製造物責任法                      3. 家庭用品品質表示法)



- III. 消費者の嗜好を考慮した提案は（ C ）といわれている。  
（1. マーケットイン                      2. ストレージイン                      3. プロダクトイン）
- IV. 繊維需給で初めて輸入が輸出を上回ったのは（ D ）年のことである。  
（1. 1967                                      2. 1987                                      3. 2007）
- V. 世界の主要な原料繊維生産に関して、1985～2014年の間で一番伸び率の高い繊維は（ E ）である。  
（1. ポリエステル                              2. 綿    3. ナイロン）
- VI. 多少高価でも時間的、物質的に長持ちする衣料品のことを（ F ）という。  
（1. ベストロングセラー・クローズ                      2. アウトプレースメント・クローズ  
3. インベストメント・クローズ）
- VII. 婦人服のシェアが紳士服と同じ40%に並んだのは（ G ）年のことである。  
（1. 1971                                      2. 1986                                      3. 2001）
- VIII. 「百貨店」、「量販店」は、（ H ）を表す語である。  
（1. 業種    2. 業態    3. 職種）
- IX. ある商品が、A国からB国に外国間で移動するが、日本の企業が売買、代金決済の当事者になって収入を得るケースについては、外為法で（ I ）の名称が付与されている。  
（1. 仲介貿易                                      2. 求償貿易                                      3. 中継貿易）
- X. 1960年代まで低価格のブラウス、シャツ等が、商社等の手によって日本から米国向けに大量に輸出されていたが、（ J ）によって米国向けの主要輸出国は発展途上国にシフトした。  
（1. 新繊維協定                                      2. 多角的繊維協定                                      3. 日米繊維協定）
- XI. 流通の機能として、商品取引流通（商流）、物的流通（物流）に、（ K ）も加わるようになった。  
（1. 二次流通    2. 情報流通    3. 直接流通）
- XII. 売場で商品が売れた時、売上傳票と仕入伝票を同時に作成する方式を（ L ）という。  
（1. 売上支払制    2. 消化取引制    3. 買取制）





問9 次のA～Hの文の下線部について、①②の両方が正しい場合には『1』、①が正しく②が誤っている場合には『2』、①が誤っており②が正しい場合には『3』、①②の両方が誤っている場合には『4』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①1950年6月の朝鮮動乱により、繊維企業は輸出が増加して高い収益をあげた。  
②朝鮮動乱当時は生活必需品である綿・スフの紡績業が繊維産業のリーダーであった。
- B. ①合繊業は設備投資が大きい資本集約型の産業である。  
②合繊業が日本の繊維業界のリーダーとなったのは1980年代である。
- C. ①紡績メーカーは、綿、毛、麻から糸を生産しており、合繊は含まれない。  
②製糸メーカーは、もともと生糸を作るメーカーを指す。
- D. ①セレクトショップは和製英語である。  
②SPAとは、製造小売業を表す用語である。
- E. ①カテゴリーキラーとは、取扱商品を特定の分野に絞り込んで、低価格を打ち出すことを特色とする業態である。  
②(一社)日本ショッピングセンター協会によるショッピングセンターの定義のひとつは、キーテナントを除くテナントが、100店舗以上含まれていることである。
- F. ①日本のアパレル産業は、各段階に生産企業と卸売企業が存在し、その多重構造が産業構造を複雑にしている。  
②アパレルメーカーが委託販売の形式を採る場合、商品の所有権は小売側にある。
- G. ①ICタグは、遮蔽物があってもリーダーで固有データを瞬時に読み取ることができる。  
②ICタグは、棚卸など店舗業務の効率化に貢献している。
- H. ①日本のアパレルメーカーと百貨店の間には、派遣店員制度がある。  
②日本のアパレルメーカーと百貨店の間には、委託販売という契約がある。

問10 次のA～Hの文で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①洗濯用水中のカルシウム成分は布に付着して、徐々に酸化されて赤褐色になる。  
②亜硫酸ガスは、染色物の変退色を起こす可能性がある。
- B. ①衣料用洗剤の品名は「洗濯用石けん」「洗濯用複合石けん」および「洗濯用合成洗剤」に区分して表示される。  
②衣料用洗剤の表示には家庭用品品質表示法が適用される。
- C. ①ウェットクリーニングはドライクリーニングの一種である。  
②ランドリーはドライクリーニングの一種である。
- D. ①石油系溶剤によるドライクリーニングは、他の溶剤と比較して日本では最も多く普及している。  
②ドライクリーニング溶剤のうち石油系溶剤は、パークロロエチレンと比較して揮発しにくく、乾燥に時間を要する。
- E. ①繊維製品品質表示規程では、ブラウスにはサイズの品質表示が必要とされている。  
②繊維製品品質表示規程では、セーターにはサイズの品質表示は必要とされていない。
- F. ①紳士用長ズボンで、すそ上げが完成している製品には、また下丈（衣料の実寸法）を表示する必要がある。  
②JISの衣料サイズで表示される数値は基本身体寸法であり、衣料品の出来上がり寸法ではない。
- G. ①日本製の繊維製品は、家庭用品品質表示法により「国産」の表示が義務付けられている。  
②繊維製品の原産国表示をするときは、国名を書かなければならない。
- H. ①繊維製品を反毛にすることは、3Rのうちのリユースに位置づけられる。  
②ポリエステル繊維を原料モノマーに戻して再度製品として利用することは、3Rのうちのリユースに位置づけられる。

問11 次のI～Xの文中の( )内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 市販されている家庭用の柔軟仕上げ剤の主成分は、( A ) 界面活性剤である。  
(1. 陽イオン (カチオン)                      2. 陰イオン (アニオン)                      3. 非イオン (ノニオン))
- II. 衣料用洗剤の表示事項に ( B ) はない。  
(1. 成分    2. 液性    3. 浴比)
- III. ドライクリーニング洗剤 (ソープ) の主成分は ( C ) である。  
(1. 界面活性剤                                      2. ゼオライト                                      3. CMC)
- IV. 繊維製品の組成表示を行うときは、組成繊維の名称と ( D ) を表示する。  
(1. 絶乾混用率                                      2. 正量混用率                                      3. 指定混用率)
- V. JIS L 0001 の取扱い表示記号の商業クリーニングでは、( E ) を対象外としている。  
(1. ウエットクリーニング                      2. ドライクリーニング                      3. ランドリー)
- VI. 取扱い表示記号  で使える漂白剤は、( F ) である。  
(1. 酸素系漂白剤                                      2. 塩素系漂白剤                                      3. 塩素系漂白剤及び酸素系漂白剤)
- VII. 取扱い表示記号  の場合、ドライクリーニング溶剤は ( G ) が使用可能である。  
(1. パークロロエチレン                              2. 石油系溶剤                                      3. パークロロエチレン及び石油系溶剤)
- VIII. 少年用、少女用、成人男子用及び成人女子用衣料のサイズ表示には、体型区分表示、( H )、範囲表示の3種類がある。  
(1. 単数表示    2. 数値表示    3. 号数表示)
- IX. 成人女子の体型区分は、( I ) に対するヒップの大きさを4体型に区分される。  
(1. 身長    2. ウエスト    3. バスト)
- X. 日本で発生する温室効果ガスの大部分は ( J ) であり、部門別排出量の割合は ( K ) 部門によるものが多い。  
J (1. メタン    2. 二酸化炭素    3. ハイドロフルオロカーボン)  
K (1. 運輸    2. 家庭    3. エネルギー転換)

問 12 次のA～Fの文について、①と②の両方が当てはまる場合には『1』、どちらかが当てはまる場合には『2』、どちらも当てはまらない場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. 弱アルカリ性の衣料用合成洗剤の用途  
①ポリエステルワイシャツ  
②綿ワイシャツ
- B. 柔軟仕上げ剤の効果  
①手触りが柔らかくなる  
②静電気を防ぐ
- C. 繊維製品品質表示規程で「WOOL」と表示できる繊維  
①アンゴラ  
②カンミヤ
- D. 組成繊維の混用率を100%と表示できるもの  
①混用率98%の絹の着物  
②混用率98%の毛のセーター
- E. 繊維業界の化学物質管理への対応  
①PRTR法  
②ISO 3758
- F. 衣料用洗剤に用いられる界面活性剤  
①ポリビニルアルコール  
②アルキルベンゼンスルホン酸塩